◎各ご家庭に配布しております。一部ずつお取り下さい。次号『まちかど』は令和７年４月発行予定です。
「まちかど」カラー版は、品川区ホームページからご覧いただけます。https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/
裏面のQRコードよりアクセス可能です。

街角とあなたをネットする暮らしと文化の情報紙

まちかど

●荏原第一地域新聞●

第２２６号
令和7年（2025）2月発行

発行・事務局
○荏原第一地域センター○
小山3-14-1（〒142-0062）
TEL　３７８６－２０００

小山台小学校開校70周年

記念品のタンブラー

小山台小学校の開校70周年記念式典が11月10日に挙行されました。昭和29年に開校して以来、地域・保護者・教職員の皆様が力を合わせて築き上げた学校です。

式典に先立ち全児童が参加する記念集会も開催され、児童が作った学校の歴史クイズを出し合いました。また、記念品としてタンブラーが贈呈されました。このタンブラーは老朽化で伐採したかむろ坂の桜の木を利用しました。小山台一丁目町会の河野会長が児童に伐採材を使って何か記念品をあげたいと考え品川区の道路課と協力して制作されたものです。集会では記念品に携わった関係者から児童へ小山台小学校に対する熱い想いが伝えられました。開校70周年の行事を通じ、児童たちは地域の歴史を知り愛校心が育まれたと思います。引き続き多くの方々に愛される地域の学び舎として発展していくことを祈っています。

（荏原第一地域センター）

荏原第六中学校70周年

今年度、荏原第六中学校は70周年を迎え、11月16日には記念式典およびＰＴＡの協力のもと祝賀会を執り行うことができました。区議会議員をはじめ、学校関係者、同窓生、地域代表の皆さまのご臨席を賜り、生徒とともにお祝いできたことに、あらためて感謝申し上げます。

昔、本校が建つ小山の台地は柏の木で覆われていたとのことですが、現在、学校敷地内には柏の木が一本もありません。本誌第２２４号の「花めぐり」で紹介されていたとおり、縁起の良い木として、その葉は本校校章にデザインされ、良い伝統が続くようにとの想いが込められています。そこで、この周年記念を期して、本校同窓会より柏の木が贈呈されました。西小山駅から歩いて掲示板傍に植樹されています。ご覧いただければと思います。

祝賀会では、地域を代表する獅子舞や木遣りが披露され、大いに場を盛り上げてくれました。これも本校が地域に愛され、地域の皆さまとともに歩んできた歴史の賜物だと感じています。今後、この柏の木にあたたかく見守られながら、これからも教職員一同、荏原六中の教育活動を真摯に努め、生徒たちの成長を願い、さらなる地域に根付く学校として進んでいきます。

（荏原第六中学校　校長・稲葉　慶太）

花めぐり

千両（センリョウ）・万両（マンリョウ）

センリョウ（センリョウ科）

マンリョウ（サクラソウ科）

令和５年1月に
小山四丁目で撮影

きれいな赤い実をつけるセンリョウ、マンリョウは、果実と常緑の濃緑色の葉を鑑賞する縁起植物として親しまれています。二つは全く違う種類で見分け方は、葉の上に実がつくのがセンリョウ。葉の下に実をつけるのがマンリョウです。

センリョウはもともと仙蓼（センリョウ）と呼ばれていましたが、江戸時代、千両へと変わりました。由来は同じ赤い実をつける縁起の良い万両（マンリョウ）に似ていて、それより実が少なかったので千両となった説があります。花が少ない冬の時期、赤い実をつけるセンリョウ、マンリョウはクリスマスやお正月の生け花として飾られます。　（小山四丁目・東　美佐栄）

山梨県で宿泊研修会開催

昇仙峡にて記念撮影

荏原第一連合町会による宿泊研修会が、11月10日から1泊2日の行程で山梨県にて行われました。

この研修会は、町会長や町会員が参加して親睦を深めると共に、区外視察を通して、今後の地域活性化に役立てようと毎年実施されています。

まず、『北区防災センター』で防災に関する正しい知識を勉強しました。特に地震体験は起震車よりも、さらに本格的な揺れを体験することができ非常に臨場感のある研修内容となりました。

また、今回の研修会では、近場の山梨県での実施ということもあり、忍野八海、根津記念館、昇仙峡等の観光地をゆっくり見学しました。

宿は山梨県笛吹市石和町にある「石和温泉 ホテル花京」。日本有数の温泉地にて、日ごろの疲れを癒しました。

（荏原第一地域センター）

建物や街並みの散策

小山二丁目西部町会では年一回、都内の建物や街並みを巡る散策を実施しています。昨年は、6月23日に池袋の「自由学園明日館」と目白の「切手の博物館」を訪れました。

明日館はフランク・ロイド・ライトが設計した重要文化財ですが、カルチャースクールや結婚式場、撮影の場など広く一般の方にも開放されています。単に保存するだけでなく、「使いながら守っていくこと」を実践しているとのことでした。

また、切手の博物館では、世界の珍しい切手に触れ、当日開催されていた切手を使ったしおり作りに挑戦した方もいらっしゃいました。

道すがらの会話や創作作業に熱心に取り組む姿から、お互いに普段知らなかった一面が垣間見られたりして、お隣さんを再発見するのも楽しいものです。建物や街並みの散策を通して、自然に交流の輪が広がればと思っています。

（小山二丁目西部　厚生部・石井　一郎）

自由学園明日館にて集合写真

町会活動紹介

グランドゴルフ・子どもパフォーマンス（荏原一丁目町会）

まちかどの一角の小さな記事に目を止めて頂き、有難うございます。今回は荏原一丁目町会で行った新しい行事を二つ紹介させて頂きます。

一つ目はグランドゴルフについてです。いつもは荏原一丁目亀楽会（きらくかい）が行っているグランドゴルフを、町会員の小学生・中学生・大人を交えた大会を11月に開催しました。おじいちゃんおばあちゃんが優しく若者たちに教え、2ラウンドの間の休憩中には手作りのサンドウィッチを食べながら雑談を交え、楽しいひと時を過ごしました。亀楽会メンバー全員に紫の荏原一丁目パーカーをプレゼントしました。これからも元気に活動していただき、グランドゴルフの品川区大会でも優勝していただくことを期待しています。

二つ目は12月の恒例の餅つきについてです。イベントの際には、子どもパフォーマンスの集合を呼びかけ、インラインスケート＆チアダンスを披露して頂きました。初めて見るインラインスケートは迫力満点でした。限られた狭い場所での開催でしたが何種類も演技を披露してもらい圧巻でした。チアダンスは幼稚園児から低学年まで8名で荏原一丁目町会外（戸越）からの参加でした。寒い気温の中でしたが元気いっぱい、かわいらしいダンスを披露して頂き、会場のみんなも手拍子で大盛り上がりでした。

子どもパフォーマンス

（荏原一丁目・谷中　政直）